

入試年度	2026年度	入試時期	I期入学試験	実施日	2025年9月26日
課程	博士前期課程	研究科	国際日本学研究科	専攻・コース	国際日本学専攻 文化・思想研究領域
入試方式	一般入学試験/ 外国人留学生入学試験		試験科目	専門科目	

「出題の意図」および「解答」または「解答例」

**【出題の意図】**

大学院で研究を遂行するにあたって必要となる基礎知識をもっているかどうか、また、研究課題の所在を明らかにし、それに対する自分の考えを論述する力があるかどうかを問う問題。

**【解答例（採点時の観点）】**

I. 論述問題

(1) 文学史的知識と、情報を体系的に論述できるかどうかの力を問う問題。文壇の成立において重要な時期である大正時代前半の文学状況について、記憶している具体的な情報に基づいて、それらが主要なものであると言える根拠を吟味しながら取捨選択し、それぞれの要素間の関係も含め、自分なりに言語化できるかどうかを確認するもの。

(2) 80年代以降の近代文学研究において重要なものとなった「語り」という分析概念についての知識と、そうした分析概念の研究上の運用方法について、具体的なイメージをもって、自身の思い浮かぶ例に基づいて体系的に記述できるかどうかを確認するもの。

II. 解説問題

(1) 「よみうり抄」という、『読売新聞』に掲載されていた彙報欄について、研究上の重要性や、近年の目覚ましい研究状況などについても触れながら解説できるかどうかを問うもの。

(2) 「生成論」という文学研究上の重要な方法論のうちの一つについて、その発想や内容、主要な研究動向や具体的なイメージについて、知識と問題意識に基づいて解説できるかどうかを問うもの。

(3) 「ジャパナレッジ」という、近年より重要になってきたオンラインデータベースプラットフォームについて、機能や具体的なコンテンツ、研究上の有用さ等の観点から解説できるかどうかを問うもの。

(4) 「木曜会（1906～1915年）」という、文学史上よく知られた文学者らの集まりについて、中心人物や有名な参加者、文壇内での存在感やその後に与えた影響などを、自身の知識から解説できるかどうかを問うもの。

合否判定の方法及び基準

入学試験は国際日本学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。